

B. 有機質土大群

湿生植物の遺体が、過湿のため分解を免れ厚く堆積した土壌。主として沖積地や海岸砂丘の後背湿地、谷地、高山などの湿地に分布する。

群として1土壌群「泥炭土」があり、泥炭の分解程度、泥炭の元となった植物の種類、無機質層の有無・出てくる場所などによって細分される。

B
有機質土



農研機構北海道農研センター美唄泥炭試験地の自然植生

B1 泥炭土

代表的な土壌断面

(高位泥炭土亜群)

B

有機質土



ミズゴケを
主体とする
高位泥炭層

ミズゴケ類、
ホロムイスゲ、
ツルコケモモ、
ミカズキグサ
類、ホロムイ
ソウなどから
なる低栄養の
泥炭土

繊維質高位泥炭土
北海道美唄市 [モノリス14]

B1 泥炭土

様々な泥炭土群



繊維質高位泥炭土
北海道雨竜町 [モノリス94]



繊維質低位泥炭土
北海道浜頓別町(道立天北農試)

ヨシ、ハン
ノキなどを
主体とする
低位泥炭層

コラム

泥炭の利用

泥炭はピートと呼ばれウイスキーの製作過程で重要な役割を持つ。某洋酒会社が北海道余市に工場を作った理由の一つに、北海道で取れる泥炭(ピート)があるとされている。

また、園芸店では、高位泥炭土の構成植物であるミズゴケの泥炭が「ピートモス」として園芸用土や土壌改良資材として販売されている。



ミズゴケ